

高等学校 令和7年度（1年次用）教科

科目 産業社会と人間

教科： 産業社会と人間 科目： 産業社会と人間 単位数： 2 単位
対象年組：第 1 年次 1 組～ 3 組
教科担当者： 取りまとめ 田久保 1 組（中村・山崎） 2 組（門野・戸田） 3 組（寺園・田久保）
使用教科書：（ なし ）

教科 産業社会と人間 の目標：

【知識及び技能】 社会生活や職業選択・職業生活に必要な知識やコミュニケーション能力が身についている。

【思考力、判断力、表現力等】 社会生活や職業選択・職業生活について考え、発表することができる。

【学びに向かう力、人間性等】 積極的にコミュニケーションを取ったり、生き方や進路について自分ごととして学んだりする態度が身についている。

科目 産業社会と人間	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
社会生活や職業生活に必要な知識やコミュニケーション能力が身についている。	社会生活や職業生活について考え、発表することができる。
	【学びに向かう力、人間性等】
	積極的にコミュニケーションを取ったり、生き方や進路について自分ごととして学んだりする態度が身についている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
一 学 期	産業社会とコミュニケーション あおていスキル「人と関わる力」 【知識及び技能】 学校生活を振り返りながら、手紙を正しい形式で書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 学校生活について人前で発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 コミュニケーション活動を振り返り、自らの能力を高めようとしている。	・オリエンテーション ・ICTの使い方 ・さいころトーク ・『グループエンカウンター（第1回）』 ・『自己表現活動』 ・学校生活に関する発表活動 ・中学校への手紙	【知識及び技能】 学校生活を振り返りながら、手紙を正しい形式で書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 学校生活について人前で発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 コミュニケーション活動を振り返り、自らの能力を高めようとしている。	○	○	○	24
二 学 期	産業社会とコミュニケーション あおていスキル「人と関わる力」 （つづき） 【知識及び技能】 多様性や多文化共生に関する知識が身についている。 【思考力、判断力、表現力等】 夏休みの生活について人前で発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 多様性や多文化共生について自分ごととして学ぼうとしている。	・夏休みの生活についての発表活動 ・『グループエンカウンター（第2回）』 ・多様性及び多文化共生	【知識及び技能】 多様性や多文化共生に関する知識が身についている。 【思考力、判断力、表現力等】 夏休みの生活について人前で発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 多様性や多文化共生について自分ごととして学ぼうとしている。	○	○	○	14
	産業社会と人生 あおていスキル「未来を切り拓く力」 【知識及び技能】 社会生活に必要な知識が身についている。 【思考力、判断力、表現力等】 社会生活について学んだことを人前で発表できる。 【学びに向かう力、人間性等】 人生設計や社会保障制度について自分ごととして学ぼうとしている。	・SOSの出し方 ・『人生設計』 ・『人生のピンチの対処法』 ・社会生活に関する発表活動	【知識及び技能】 社会生活に必要な知識が身についている。 【思考力、判断力、表現力等】 社会生活について学び感じたことを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 人生設計や社会保障制度について自分ごととして学ぼうとしている。	○	○	○	16
三 学 期	産業社会と職業 あおていスキル「自分を見つめる力」 【知識及び技能】 職業選択・職業生活に必要な知識が身についている。 【思考力、判断力、表現力等】 職業選択・職業生活について学んだことを人前で発表できる。 【学びに向かう力、人間性等】 人生設計や社会保障制度について自分ごととして学ぼうとしている。	・職業適性について ・『仕事の種類』 ・職業選択・職業生活に関する発表活動	【知識及び技能】 職業選択・職業生活に必要な知識が身についている。 【思考力、判断力、表現力等】 職業選択・職業生活について学んだことを人前で発表できる。 【学びに向かう力、人間性等】 人生設計や社会保障制度について自分ごととして学ぼうとしている。	○	○	○	24 計 78